

南海トラフ巨大分岐断層の形態と物性 Geometry and physical properties of mega-splay fault in the Nankai Trough

山田 泰広^{1*}, 増井玲央那¹, 辻健¹
YAMADA, Yasuhiro^{1*}, Reona Masui¹, Takeshi Tsuji¹

¹ 京都大学

¹Kyoto University

南海トラフ付加体で認められた巨大分岐断層の三次元形態を反射法地震探査データを用いて解析した結果、場所によって傾斜角度や傾斜方向に変化があることや、単なる平板ではなく複雑な屈曲形態を示すこと、断層帯の厚さや音響インピーダンス分布も場所によって変化していることなどが明らかになった。これらの断層帯形態や物性分布は、海底斜面崩壊堆積物から推定された断層活動の地域差と調和的である。

キーワード: 南海トラフ, 分岐断層, 構造形態, 物性, 物理検層, 反射法地震探査

Keywords: Nankai Trough, mega-splay fault, structural geometry, physical properties, geophysical logging, reflection seismology